

今号の主な記事
◇「西宮市展」作品募集.....3面
◇「高松公園オープニングイベント」、「まちかどコンサート」開催.....2面
◇「あいさつ運動」にご協力を.....2面
◇環境月間記念講演会を開催.....2面

地域ぐるみで安全なまちづくりを

自主防犯活動にご協力を

日本は「世界一安全な国」と言われてきました。しかし近年、犯罪が急増し、とりわけ空き巣やひったくりなどの発生件数が、全刑法犯認知件数の75%を占めるなど、治安の悪化を身近に感じるようになりまし



犬の散歩時に通学路などを見回しする「わんわんパトロールグループ」(苦楽園自治会)

こうしたなか、警察の取り組みだけでは限界があるという認識が高まり、地域社会が本来有している犯罪抑止機能に着目し、地域で様々な防犯活動が行われています。また、犯罪の機会を与えないよう、公園の見通しを良くしたり、まちなかの死角をできるだけ無くすなど、まちづくりに犯罪予防の観点を取り入れています。

本市では長年にわたり、防犯協会や自治会、青少年愛護協議会をはじめ、補導委員や各学校園のPTAなど、多くの市民・地域団体の皆さんの協力で、安全な生活・地域環境の実現に向けて様々な活動が行われています。しかし、こうした皆さんの協力にもかかわらず、ひったくりや空き巣、子どもが犯罪に巻き込まれる事件などは増加しています。

まちづくり防犯グループが活躍

そこで、地域の安全は地域が自ら守る」という考え方のもと、さらに地域の活動を支援するため、市・県・警察が連携・協力しながら、県の「地域ぐるみ安全対策事業」を推進しています。

市長からのメッセージ

4月25日午前9時18分、JR福知山線の塚口駅(尼崎駅間で、快速電車脱線という未曾有(みぞう)の鉄道事故が発生しました。西宮市民をはじめ多くの方がお亡くなりになられ、また負傷されるといふ大惨事になってしまいました。不幸にして事故の犠牲となられた方々のごめい福を心よりお祈りいたします。また、負傷されました皆さんの一日も早いご回復を願っております。本市も事故直後から情報収集活動を行うとともに、現地救急・救助活動に消防局職員を派遣し、事故翌日にはご遺族や負傷された市民の皆さんのこころの相談窓口として「こころのケア相談」を開設するなどの支援を行いました。刻々と入ってくる情報を聞くたびに胸がしめつけられる思いがいたしました。「安全・安心」は市民生活にとって最も大切なことです。今後、このような事故が二度と起こらないようJR西日本に対し強く申し入れを行いました。今後も市民の皆さんの生活を守るため、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

協議会、PTAなどの協力のもと、防犯パトロールや登下校時の児童等の見守り活動などを中心に、積極的な防犯活動を展開しています。様々なまちづくり防犯グループが活動していますので、皆さんも参加してみたいかがでしょうか。

市のホームページで提供しています

防犯情報

市のホームページ(アドレスはページ下参照)に、防犯新着情報や犯罪の地域別件数などの防犯情報を掲載しています。「くらす西宮」の中の「安全」サイトからご覧ください。

まちづくり防犯グループの活動状況
防犯パトロール: 103グループ
登下校時の児童等の見守り: 87グループ
防犯に関する広報活動や啓発: 58グループ
声かけあいさつ運動の実施: 11グループ など

「西宮市政ニュース」は、4月からすべての世帯と事業所のポストへ、発行日前日と当日にかけて宅配でお届けしています。発行日を過ぎて届かない場合は、下記へご連絡ください。
西宮市シルバー人材センター
フリーダイヤル
☎ 0120・72・4833
受付: 午前9時~午後6時
宅配日以外の土・日曜、祝日は休業